

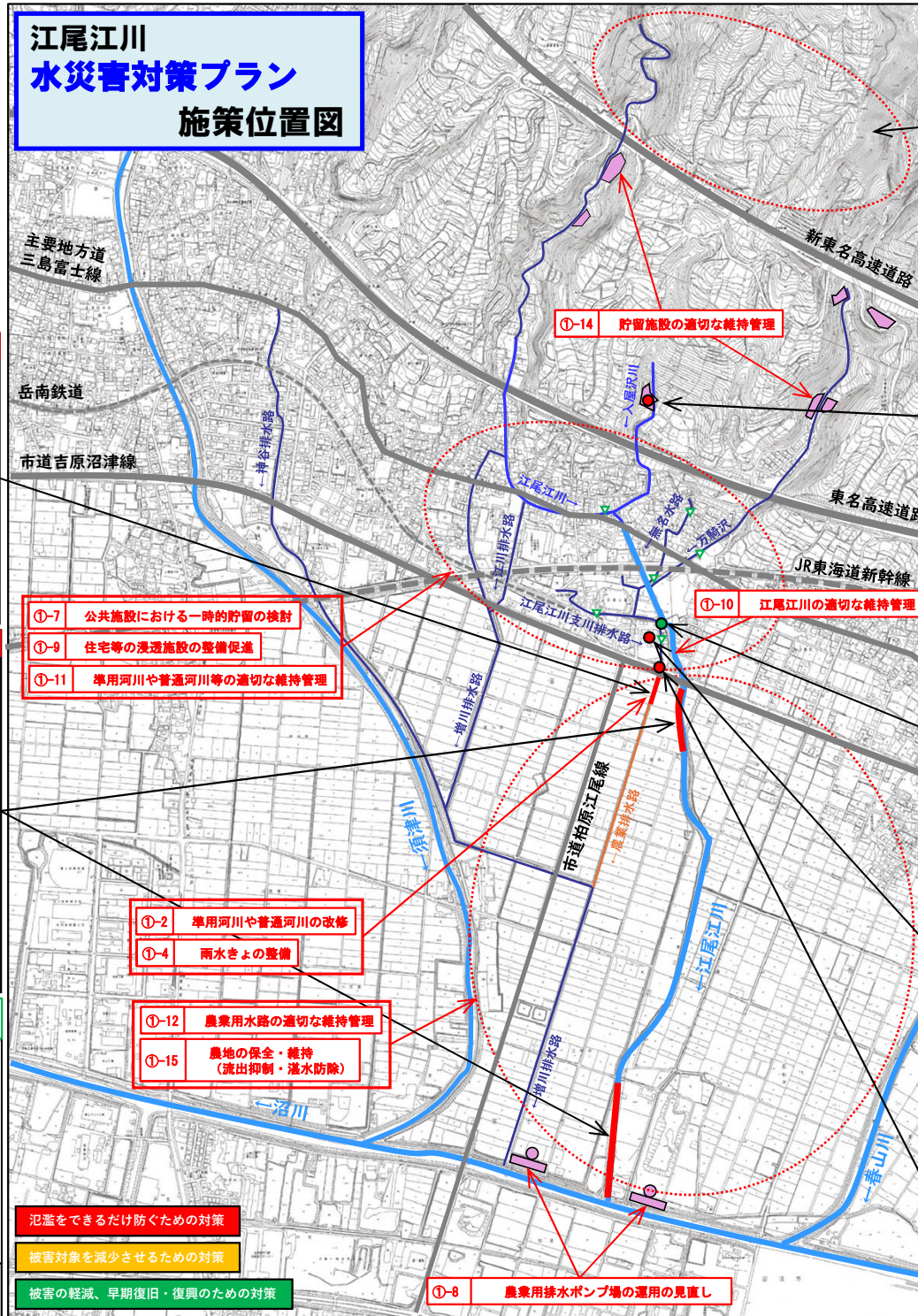
水災害対策プランの目的・考え方

浸水被害が頻発している江尾江川周辺を対象とし、行政機関による河川改修を進めることはもとより、住民一人ひとりを含むあらゆる関係者が、浸水被害の実態や原因、対策の目標についての認識を共有し、流域全員が協働して流域全体で行う持続可能な取り組むべき治水対策[流域治水]を示したものの。

◀流域治水の「3つの対策」の方向性▶

- ① 氾濫をできるだけ防ぐための対策
- ② 被害対象を減少させるための対策
- ③ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

江尾江川 水災害対策プラン 施策位置図



①-3 農業排水路の改修
老朽化した4工区7号排水路の改修工事を令和6年度に着手し、継続して施工を行っている。(市)

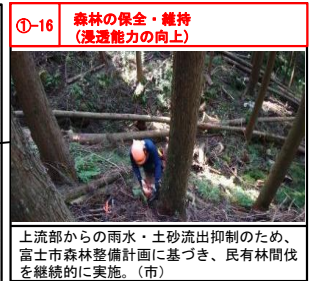


①-1 江尾江川の改修
河川整備計画に基づく河川改修(計画流量20m³/s)は、沼川合流部付近250mの築堤工事が完了した。また、整備効果早期発現のため、現河川の一次拡幅(計画流量約12m³/s)を実施。令和7年6月までに市道吉原沼津線権田給橋から約210mの一次拡幅が完了した。引き続き一次拡幅・築堤工事を実施していく予定である。(県)



③-6 出前講座の開催
住民・児童・学生を対象とした防災講座の場において風水害を取り扱い、地域・自宅で想定される水害リスクや避難方法を説明。(県・市)

③-9 河川の水位観測器及び河川監視カメラの設置と観測情報等の提供
普通河川等において設置した簡易水位計(地区内水路6か所・右図の▽)の実証実験を実施し、地区にウェブ版で公開した。(市)



①-16 森林の保全・維持(浸透能力の向上)
上流部からの雨水・土砂流出抑制のため、富士市森林整備計画に基づき、民有林間伐を継続的に実施。(市)



①-6 調整池の活用や機能向上
下流部への雨水流出抑制を図るため、愛産調整池に、監視カメラや量水樞を設置し機能強化・維持補修を実施した。(市)



③-14 緊急排水用ポンプの運用
河川災害用の可搬式排水ポンプを令和7年3月に導入した。浸水被害が予想された降雨時に、当該ポンプ運転により被害軽減に努めた。(市)



①-13 道路の適切な維持管理
道路巡視結果や地元からの要望に応じて、側溝や暗渠の堆積土砂の撤去を実施。(市)



①-5 逆流防止のための樋門等の整備
可搬式排水ポンプの運転に合わせた瀬木の運用による効果確認を実施。(市)

氾濫をできるだけ防ぐための対策

被害対象を減少させるための対策

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

①-8 農業用排水ポンプ場の運用の見直し

①-2 準用河川や普通河川の改修

①-4 雨水きよの整備

①-12 農業用水路の適切な維持管理

①-15 農地の保全・維持(流出抑制・浸水防除)

①-7 公共施設における一時的貯留の検討

①-9 住宅等の浸透施設の整備促進

①-11 準用河川や普通河川等の適切な維持管理

①-14 貯留施設の適切な維持管理

①-10 江尾江川の適切な維持管理